

# こども未来アクション2025（概要版）

- 子供目線で捉え直した政策の「現在地」と、子供との対話を通じた「継続的なバージョンアップの指針」として毎年度策定
- 本アクションに基づき、チルドレンファーストの東京の実現に向けて、具体的なアクションを実践

## 1章 チルドレンファーストの社会の実現に向けて

### 子供の実態、声や思いを子供政策に反映

#### ○ 多様な手法で聴いた子供の意見やエビデンス

##### 18,000人の 子供の意見

- ◆ 子供の居場所におけるヒアリング
- ◆ こどもワークショップ
- ◆ SNSを活用したアンケート
- ◆ こども都庁モニター
- ◆ 出前授業
- ◆ 中高生 政策決定参画プロジェクト

##### 子供に関する エビデンス(実態や意識)

- ◆ 子供に関する定点調査  
「とうきょう こども アンケート」

【調査対象:10,500世帯】



子供ヘフィードバック

#### 【政策反映の例】

- ✓ 職業体験プラットフォーム（仮称）
- ✓ 2025年開催の世界陸上・デフリンピックへの子供の参画、気運醸成
- ✓ 多摩都市モノレール延伸部のまちづくり

### 今後のアクション

#### ○ 子供との対話や実態把握の質を向上

##### 各局と連携した 意見聴取の取組を推進



##### 声をあげにくい子供の意見 を的確に把握

- ✓ 各局の取組を子供政策連携室が  
伴走支援

- ✓ 困難な状況にある子供の居場所  
におけるヒアリングを重点実施

#### ○ 全ての子供と直接つながるデジタル接点を創出

新

##### 小学生 東京都こどもHP



##### 中高生

##### 中高生Webサイト（仮称）

2026年3月～本格稼働

AIを活用した  
学び

中高生目線で  
自ら情報発信

- ✓ 一人1台端末との  
接続を加速
- ✓ 子供の声を聞きながら  
内容をアップデート

相談窓口等  
とのつながり

### 東京都こども基本条例の普及啓発

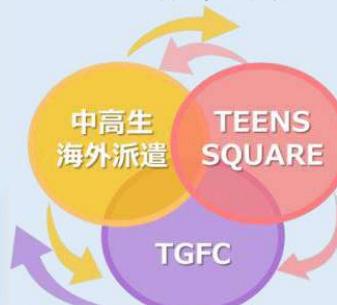
#### ○ 国内外の多様な主体との連携を通じて

#### 条例理念の発信や意見交換等を行う場を創出



- 中高生海外派遣  
#つながる世界の10代 ワールドキャンパス
- ✓ 海外の子供政策先進都市を  
東京の子供たちが訪問

- 交流事業の連携により  
シナジー効果を強化



##### こどもシンポジウム “TEENS SQUARE”



- ✓ 国内外の子供たちが子供参画の取組等を  
意見交換するシンポジウムを開催

##### 東京こども政策国際会議 “Tokyo Global Forum on Children”



- ✓ 海外都市の子供政策の実務責任者を招待し、国際会議を開催

## 2章 全ての子供の笑顔を育む子供政策強化の加速と深化に向けて

### 組織横断で取り組むリーディングプロジェクト

#### プロジェクト① 乳幼児期の子育ち

非認知能力の育成など、  
全ての乳幼児の「伸びる・育つ」をサポート



- 幼保共通の「とうきょう すくわくプログラム」を全域展開 拡
- ✓ 新たに家庭的保育事業や事業所内保育事業等を追加
- ✓ 園の活動充実への助言を行う「すくわくナビゲーター園制度(仮称)」を創設

2023 ベータ版

2024 全域展開

14園で実践

約1,600園で実践見込  
(2025年1月時点)

2025

実践園拡大  
2,750園

#### プロジェクト③ 学齢期の子育ち

学び・居場所の多様な選択肢を創出

##### 学校外

拡

- フリースクール等を支援
- ✓ 利用者等への支援
- ✓ フリースクール等への支援
- ✓ 多様な学びの調査研究



##### 学校等

- 様々な不登校対策を重層的に展開 拡

- ✓ チャレンジクラスの設置拡大
- ✓ 「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム」の展開
- ✓ 教育支援センターの機能強化

- 保護者の不安や悩みをサポート 新

- ✓ 情報を一元的に入手できるポータルサイトや相談会の開催 等 新

- 不登校児童生徒の低年齢化への対応

#### プロジェクト② 子育てのつながり創出

リアルとバーチャルの双方から日常的な不安や悩みに寄り添う

##### リアルなつながり

- 「ファミリー・アテンダント」を充実

- ✓ 特に不安が生じやすい0歳児家庭に対して  
全戸訪問による見守り等を行う区市町村を支援



拡

マスクott  
キャラクター  
ギュッぴい

##### デジタルによるつながり

- “ギュッとチャット”を開設 (2025年1月～先行稼働)

- ✓ SNS等を活用し、匿名で気軽に相談

- ✓ AI活用により安心で利便性の高い環境を創出



#### プロジェクト④ 学校の居心地向上

学校風土を改善、子供が直面する問題の発生を未然防止

- 東京都医学総合研究所等と連携し、取組を推進 新

- ✓ 取組効果の検証スキームや居心地向上の実践プログラムを構築し、取組を行う高校・中学校数を拡大

- ✓ 小学校を対象としたスキーム等を検証

生徒への居心地調査  
〔C heck〕

結果のフィードバック  
〔A ct〕

P D C Aの視点を取り入れ、継続的に取り組む

活動の実施  
〔D o〕

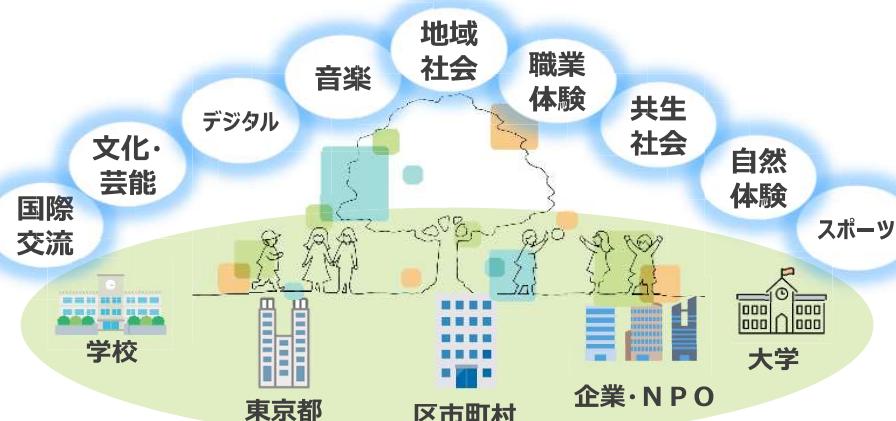
活動内容の計画  
〔P lan〕



## プロジェクト⑤ 子供の未来を育む「体験活動」の推進

### 子供の豊かな育ちを社会全体でサポート

#### ■ 学校内外で様々な体験活動を創出 新



- ✓ 子供・若者の自立・発達に向けた**多様な体験ができる拠点**を整備
- ✓ 中高生のニーズを踏まえた**職業体験**の機会を提供
- ✓ **体験活動の創出**に取り組む区市町村を支援

## プロジェクト⑥ 子供の笑顔につながる「遊び」の推進

### 子供が伸び伸びと遊び、他者と交流

#### ■ 子供の意見を反映した遊び場づくりを推進

- ✓ プレーパークやボール遊び場など**地域資源を活用した遊び場等の創出**に取り組む区市町村を支援



#### ■ 地域の特色を生かした遊びの機会を創出 新

- ✓ **遊びの機会の創出**等に取り組む区市町村を支援



## プロジェクト⑦ 子供を事故から守る環境づくり

### 子供が安心してチャレンジできる社会を実現

#### ■ 事故情報オープンデータベースを構築・利活用

- ✓ AI活用等、データベースの**利便性を向上**



#### ■ エビデンス・ベースの 事故予防策等を戦略的に発信

## プロジェクト⑧ ヤングケアラーを支える

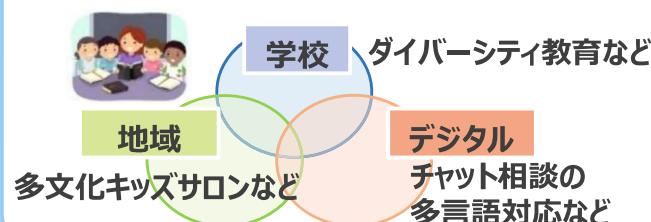
### 当事者へ寄り添い、切れ目なくサポート



- ヤングケアラーについて**理解を促進し、拡**正しい知識を浸透、社会的認知度を向上

## プロジェクト⑨ 日本語を母語としない子供を支援

### 地域・学校への適応、 心理・生活面を支援 拡



## プロジェクト⑩ ユースヘルスケア

### 思春期特有の健康上の悩みを解消

TOKYO  
YOUTH  
HEALTHCARE

— 10代からの健康・医療サイト —



- 思春期に知っておきたい**健康情報をユース目線で発信** 拡

## 子供政策強化に向けた重点アクション

### 政策の柱 1

#### 誰一人取り残さない視点から、子供へのサポートを強化

##### ■ いじめ対策

- ✓ 児童・生徒への教育相談体制を充実  
・子供・保護者から相談を受ける弁護士等の配置支援 新 等

##### ■ 児童虐待防止対策

- ✓ 広域的・専門的課題への対応に向け、児童相談体制を強化 新

##### ■ 多様な子供の居場所創出

- ✓ 多様なニーズを踏まえ、様々な子供の居場所を創出  
・小学校を活用した朝の子供の居場所づくり 新 等



##### ■ 社会的養育

- ✓ 里親制度の普及や里親への支援を充実 拡

### 政策の柱 2

#### 政策の柱 2

#### 子育て家庭に寄り添い、子供の育ちを支える環境を充実

##### ■ ライフステージを通じた切れ目ない支援の充実

- ✓ 都内全ての子供の保育料等を無償化 拡
- ✓ 都立高校等の授業料を実質無償化
- ✓ 子育て世帯等が住みやすいアフォーダブル住宅を供給 新



##### ■ 学童クラブの整備・サービスの質の向上

- ✓ 2027年度末までに学童保育の待機児童を解消  
・都独自「認証学童クラブ制度」の創設 新 等



##### ■ こどもDXの推進 拡

- ✓ プッシュ型子育てサービスの実現
- ✓ 保活ワンストップの実現 等



### 政策の柱 3

#### 「東京型教育モデル」により、教育の質を向上

##### ■ 都立高校の変革「新たな教育のスタイル」の展開 新

- ✓ 一人ひとりの興味・関心に応じた教育への変革を推進し、新たな価値や解決策を創造する人材を輩出  
・デジタルとリアルを融合した新たな学び



##### ■ グローバルに活躍できる人材の育成

- ✓ 都立学校で国際交流プログラムを実施 拡

##### ■ 特別な支援を必要とする児童・生徒に対する教育の充実

- ✓ 特別支援学校と都立高校等の協働活動を実施 新
- ✓ デフリンピック大会を契機とした

聴覚障害教育の推進・理解啓発



東京2025  
デフリンピック大会エンブレム

### 政策の柱 4

#### 多様な主体と連携し、子供の笑顔を育むアクションを展開

##### ■ こどもスマイルムーブメント

- ✓ 「社会全体で子供を大切にする」  
ムーブメントの理念を発信し、気運を醸成



##### ✓ 子供の社会参画の機会を創出

- ・職業体験を希望する中高生と企業・団体をマッチングする  
「職業体験プラットフォーム（仮称）」を構築 新 等

##### ■ 育業の推進 拡

- ✓ 職場の同僚への支援に向けたアプローチ
- ✓ 若年層へのアプローチ
- ✓ 多様な働き方を支援 等

